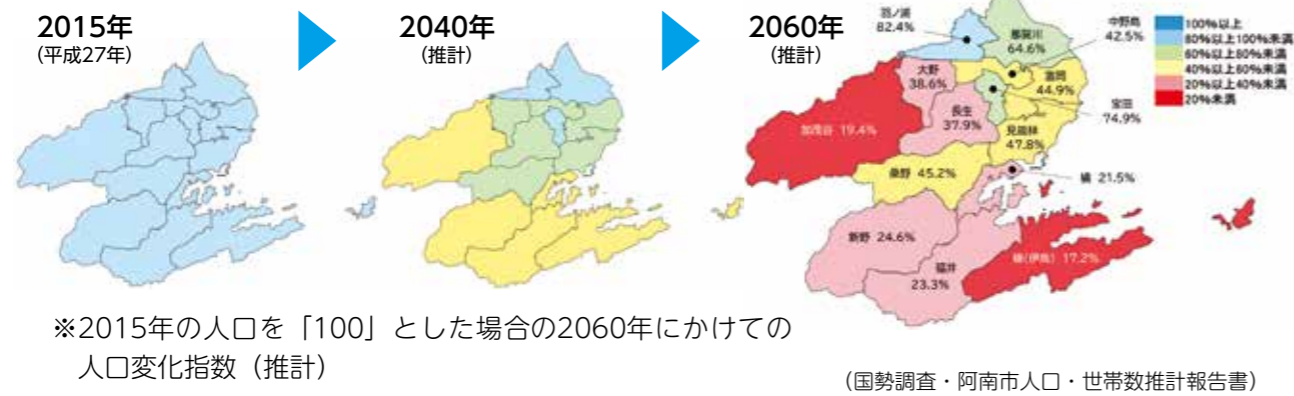


## 地域公共交通の現状

本計画においては、地域の現状調査・分析、関連計画からみた課題、アンケート調査等による市民ニーズおよび交通事業者ヒアリングによる現状調査等から大きく3つの課題に整理しています。

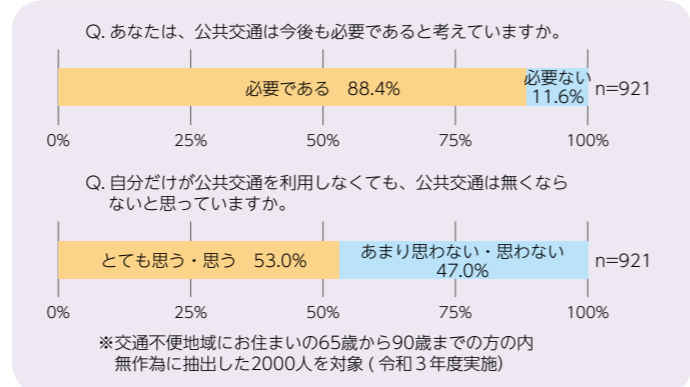
### 課題① 市周辺部の移手段の確保と利便性の高い地域公共交通網の整備

2015年の人口を基準とした場合の2040年にかけての人口変化指数（推計）を地区別にみると、加茂谷、新野、福井、椿（伊島）地区の人口は、6割から4割まで減少すると予測され、バス等の利用者は減少傾向で推移すると予測されます。また、高齢者の多くが移動に不安を抱えており、移手段の確保が求められています。



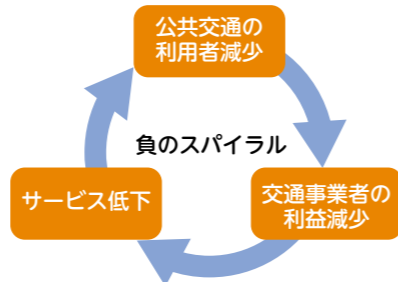
### 課題② 地域公共交通への当事者意識の醸成と利用促進

地域公共交通は、自家用車の普及等により利用者の減少傾向が続いています。令和3年度に実施した市民アンケート調査では「自分だけが利用しなくても地域公共交通はなくなる」との回答が過半数を超えてあり、市民生活に密着した市内移動は、自らで担うという当事者意識の醸成が必要で、「乗って残す」取組を加速させる必要があります。



### 課題③ 地域公共交通旅客サービスの持続可能な確保体制の構築

鉄道（JR）、バスおよびタクシー事業者は、運転手不足が続いており、また、厳しい経営状況から路線や便数を減らすことで対応し、利便性が損なわれ、ますます利用しにくい負のスパイラルにあります。地域公共交通に対する公的負担も増額していることから、持続可能な地域公共交通の体制の構築が必要です。

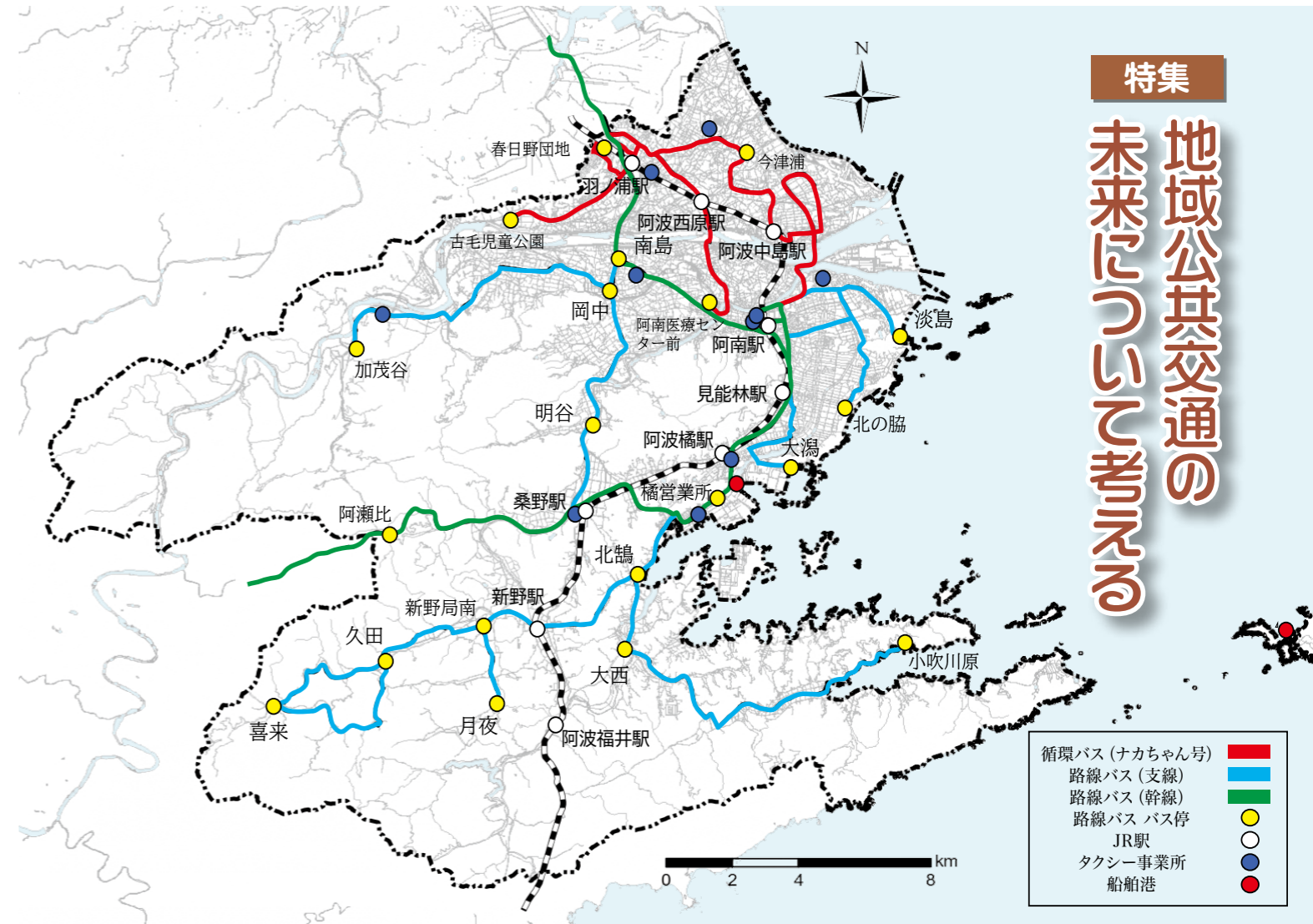


次回は、利用状況等について掲載します。（予定）

問い合わせ まちづくり推進課 ☎22-1596

## 特集

# 地域公共交通の未来について考える



※主要なバス停を掲載しています。

※支線とは⇒JRや幹線との連絡および地域内を結ぶ路線  
幹線とは⇒市内と他市町を結ぶ広域移動の役割を担う路線

## 地域公共交通の現状

本市における公共交通機関は、鉄道、路線バス（11路線）、タクシー（6事業者）、船舶（1事業者）があります。路線バスは、住民の移動手段の確保のため、財政支援を行っています。減便等の対応せざるを得ない厳しい状況が続いています。

タクシー事業者は、平成20年には13事業者ありましたが、利用者の減少や運転手不足等により、現在は半数以下の事業者数となっています。

また、鉄道事業者も厳しい経営状況が続いており、特に阿南駅以南の線区については、営業係数（100円の収入を得るのにかかる費用の額）は四国管内の線区の中でもワースト2位と、徳島県内でも最も悪い状況です。



人口減少社会の本格化等により、鉄道、バスおよびタクシーの地域公共交通サービスは、需要縮小や経営悪化、運転手不足の深刻化などにより、確保・維持が厳しくなっています。そのような中、本市においては、持続可能な新しい地域公共交通の最適化と移送手段の確保に向け、昨年5月に地域公共交通施策のマスタープランとなる「阿南市地域公共交通計画」を策定しました。

今後の地域公共交通のあり方について、市民の皆さまとともに考えることを目的に「地域公共交通の未来について考える」と題し、3回にわたり地域公共交通の特集記事を掲載します。